

絶縁油中の PCB 分析のための採取キットによる試料採取方法について

1.採取キットについて

下記採取キットをお送りいたします。試料採取前にご確認ください。

- チャック袋（大）、チャック袋（小）、手袋、紙タオル、試料瓶、スポイト（コンデンサの場合は注射筒も入れています）



採取キット一式

2. 絶縁油試料の採取方法

①トランスの場合

トランス上部の蓋を開け、スポイトを用いて油を 10ml ほど採取してください。



トランス（例）

②コンデンサの場合

電動ドリルを用いて穴を開け、テフロンチューブの付いた注射筒を用いて油を 10ml ほど採取してください。油の採取後は、金属用のパテを用いて穴埋めを行ってください。

※複数のコンデンサから採取する場合、ドリルの刃はコンデンサの数と同数以上用意し、検体ごとに刃を交換してください。

※コンデンサは油が封入されている状態のため、気温が高い場合等では油が吹き出す場合があります。あらかじめビニールやコンテナ等に入れた状態で穴を開けることをお勧めします。



コンデンサ（例）



金属用パテ（例）

③小型コンデンサの場合

プラスチックで覆われている小型コンデンサは、絶縁油の入った金属の容器が内部に封入されています。油の採取前に、プラスチック部分の蓋を取り外し、金属容器を取り出します。

小型コンデンサに金属の釘（5 寸釘）で穴を開け、テフロンチューブの付いた注射筒で油を 10ml ほど採取します。油の採取後は、金属用のパテを用いて穴埋めを行ってください。

※複数のコンデンサから採取する場合、釘はコンデンサの数と同数以上用意し、検体ごとに釘を交換してください。

※コンデンサは油が封入されている状態のため、気温が高い場合等では油が吹き出す場合があります。あらかじめビニールやコンテナ等に入れた状態で穴を開けることをお勧めします。



小型コンデンサ（例）

3. 使用後の採取キットの取り扱いについて

採取後の採油キットは全てチャック袋（大）にいれ、採取した試料が分かるように識別し、お客様で保管をお願いしております。

検査の結果、PCB 濃度が 0.5mg/kg 以下の場合、採取キットはそのまま廃棄処分できます。

PCB 濃度が 0.5mg/kg を超過した場合、使用した採取キットも PCB 廃棄物となり、対象のトランス等と一緒に処分していただく必要があります。



採取後の採油キット

4. 試料の送付

採取キットに同封しております、分析試験申込書（PCB）及び PCB 採取記録に必要事項を記入してください。（弊社ホームページの「分析試験申込書」ページに同様の様式と記入例がございます。）

採取後の試料は、ビニールテープに試料が識別できるように製造番号や通し番号等を記入し、チャック袋（小）に試料瓶を入れてください。



採取後試料

試料瓶が割れないよう梱包し、分析試験申込書（PCB）及び PCB 採取記録を同封して下記住所までお送りください。

試料送付、ご質問・お問い合わせは [こちら](#)まで

〒813-0004

福岡県福岡市東区松香台 1-10-1

一般財団法人九州環境管理協会 技術部 企画管理課 宛

TEL：092-662-0964（技術部直通） FAX：092-662-0990